

旧国鉄中央西線廃線「愛岐トンネル群」保存再生について

村上真善

愛岐トンネル群保存再生委員会 事務局長（〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町2-81）

E-mail muramasa@mc.ccnw.ne.jp

HPは「トンネル群再生」で検索

旧国鉄中央西線の複線電化に伴い1966年(昭和41年)高蔵寺駅～多治見駅間(12.2km)のうち約8km区間は新線が建設され、運用停止・廃線となった。

線路・枕木などの資材を撤去後に地元自治体・民間事業者に移管された廃線敷・13基のトンネル群は、その後放置された。土岐川・庄内川右岸を山裾に沿った約8kmの廃線敷は、鬱蒼とした藪の覆われてトンネル坑門も対岸の愛岐道路からは全く見ることができずに人々から忘れ去られていた。

我々は縁あって2007年(平成19年)、41年ぶりに明治の偉大な鉄道遺産に出合い「愛岐トンネル群」と名付けて、調査・再生・保存・活用の活動を開始した。

このレポートは、現在調査・保存・再生活動中の廃線敷と3～6号トンネルについて記す。

1. はじめに

中央西線名古屋～多治見間は、愛岐トンネル群をエリアに持つ高蔵寺～多治見間に浜谷沿いの脆弱な地盤が連続し、建設工事は大変難渋しながらも1896年(明治29年)の着工から僅か4年で1900年(明治33年)竣工した。

東濃地方のやきものを日本中・世界へ送り出し、日本の陶磁器産業発展に多大な役割をした産業・交通・土木に亘る鉄道遺産「愛岐トンネル群」を、建設当時の姿まま次世代に継承したいと、2007年(平成19年)から調査・再生・保存活動をしている。

2. 日本の鉄道トンネル

大阪～神戸間の短い3本のトンネルで始まり、1880年(明治13年)に完成した京都～大津間の逢坂山トンネル、さらに1882年(明治15年)に完成した長浜～敦賀間の柳ヶ瀬トンネルで延長1kmを突破した。

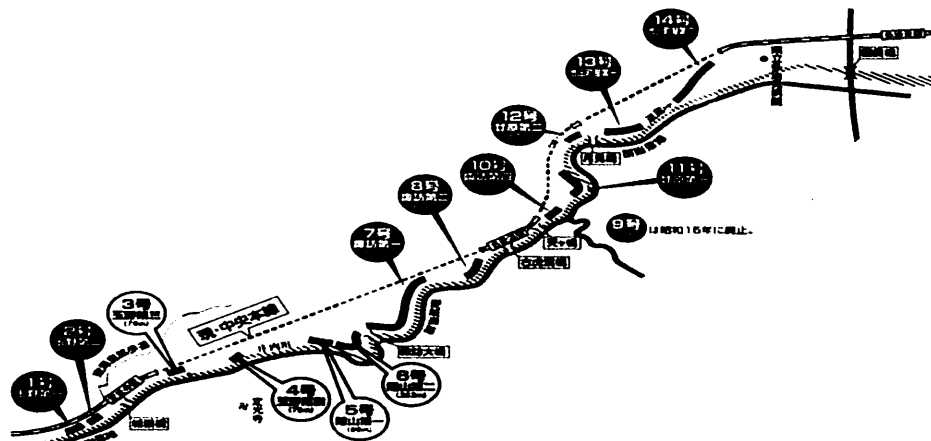
明治20年代に確米峠に26本のトンネルが建設され、全国に私設鉄道建設が本格化してトンネルの工事現場は全国に拡大し、明治30年代の山岳路線の建設へと継承された。

愛岐トンネル群(1900年)、笹子トンネル(1903年)が完成し、この時点で日本の鉄道トンネル建設技術は、ほぼ完成した。「トンネル群をめぐって」小野田滋氏より

3. 旧国鉄中央西線

- ・1896年(明治29年) 中央西線 名古屋～多治見間 着工 (この間に千種・勝川・高蔵寺の3駅あり)
- ・1900年(明治33年) // 開通・営業運転開始
- ・1911年(明治44年) // 全線開通
- ・1966年(明治41年) 複線電化により高蔵寺～多治見間の一部約8kmに新線建設・運用停止

4. 旧国鉄中央西線廃線「愛岐トンネル群」



(1) トンネル群 配置

(2) トンネル群 現況

旧・国鉄 中央本線 春日井市高蔵寺～多治見市間 トンネル配置データ

20101109

区間	号数	トンネル名	延長(m)	位置	様相	所有者	複線開業日	複線化後(m)
高蔵寺～定光寺	1号	玉野第一	105	定光寺駅 西	JR保線作業路	JR東海	昭和41.4.5.	玉野第一 265
	2号	玉野第二	80	定光寺駅 西	JR保線作業路	JR東海		玉野第二 121
定光寺～古虎溪	3号	玉野第三	76	玉野堰堤 横		民間	昭和41.4.7.	愛岐 2910
	4号	玉野第四	75			民間		
	5号	隠(かくれ)山第一	99			民間		
	6号	隠山第二	334	諏訪大橋 下流		民間		
..... 愛 岐 県 境								
	7号	諏訪第一	607	諏訪大橋 上流	西坑門から奥へ土砂で半分封鎖	名古屋市		
	8号	諏訪第二	201	古虎溪駅 西		多治見市		
古虎溪～多治見	9号	諏訪第三 (117m)		天ヶ橋 横	1940.10.10. 廃止, 池田信号場		昭和41.4.12.	
					1952.04.01. 古虎溪駅開業			
					1965.10.19. 廃止隧道撤去			
	10号	諏訪第四	91			多治見市		諏訪 802
	11号	廿(つづ)原 第一	296			多治見市		廿原 223
	12号	廿原 第二	97	月見橋 下流	東坑門コンクリ封鎖	多治見市		
	13号	池田町屋 第一	262	月見橋 上流	下水道敷設, 西坑門コンクリ封鎖	多治見市		池田町屋 1332
	14号	池田町屋 第二	385	多治見市浄化セン	下水道敷設	多治見市		
		トンネル延長 合計	2708					トンネル延長 合計

(3) トンネル群 規模

- ① 廃線軌道＝高蔵寺～定光寺～古虎溪～多治見間約8kmの単線軌道
- ② 廃棄隧道＝赤れんが13基（建設当時は14基、うち1基は1940年(s15)廃棄、）
- ③ 駅間里程＝名古屋駅 →28.1km← 定光寺駅 →3.5km← 古虎溪駅 →4.6km← 多治見駅
- ④ 愛岐トンネル群として調査・再生・活用しているエリアは3号～6号トンネル、約2km。
将来は全域約8kmの調査・再生・保存活動を目指す。

(4) トンネル型式(隧道定規)

- ① 愛岐トンネル群の形式(隧道定規)
 - * 鉄作乙内437号 長官達 1898年(m31)8月10日
 - * 1894年明治27年鉄道局標準型断面となり、1898年明治31年8月10日付の鉄作乙第437号告示で正式に隧道断面として制定。
(鉄道廃線跡を歩く3P181 JTB 1997 小野田滋氏) より
 - * 明治期の標準的な鉄道トンネルのスタイルを今日に伝える貴重な遺産として評価できるであろう。
(鉄道ファン2010.12.号 小野田滋氏) より
- ② 愛岐トンネル群 高さ 4.80m 最大幅 4.60m

(5) 建設工事

1) 愛岐溪谷に沿って

高蔵寺～多治見間の内、定光寺～多治見間のルートは、岩盤や脆弱な地盤の連続する庄内川右岸に沿って溪谷の切り取りと尾根が庄内川に迫出す部分をトンネルで克服して建設された。

工事現場へ建設資材の運搬は容易ではなく、内津峠(現国道19号線)を越える下街道(善光寺街道)と、庄内川(春日井市内愛岐溪谷は玉野川、県境を越えて多治見市内から上流は土岐川と称する)沿いに1895年(明治28年)に開通した名古屋新道(玉野街道)に施設された軽鉄道(トロッコ)、多治見からは川船が利用された。

建設当時は名古屋方から第1号～第14号と番番号で呼ばれ、後にそれぞれ固有名称がつけられた。

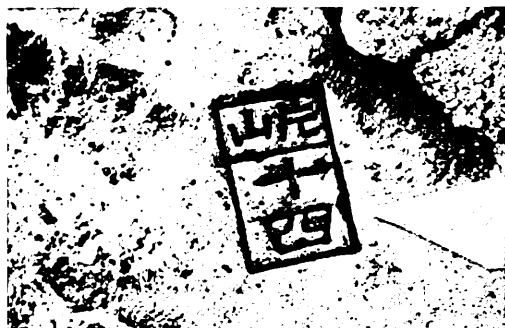
2) 工事期間

- ① 第3号隧道(玉野第三) 1898年(明治31年)着工 ～ 1900年(明治33年)竣工
- ② 第4号隧道(玉野第四) 1898年(明治31年)着工 ～ 1900年(明治33年)竣工
- ③ 第5号隧道(隠山第一) 1896年(明治29年)11月 着工 ～ 1899年(明治32年)竣工
* 工事中の崩落 1897年(明治30年)11月 崩落事故6名殉職 坑門東約18m延長
- ④ 第6号隧道(隠山第二) 1896年(明治29年)11月 着工 ～ 1900年(明治33年)07月 竣工
* 工事中の崩落 1897年(明治30年)4月 崖崩落 坑門西約80m延長
* 開通後豪雨災害 1957年(昭和32年)8月7日 集中豪雨で多治見浸水、土砂崩れ頻発、コンクリート土留壁を設置

3) 6号トンネル

1899年(明治32年)6月の降雨の為甚だしく偏圧を来たしアーチ・側壁に亀裂が生じたのでアーチ・側壁の煉瓦巻の厚さを増加する等の特殊構造採用により1900年(明治33年)完成した

(6) 赤れんが



↑製造所刻印のある廃棄された赤れんが



↑市民参加のれんが発掘調査会

① トンネル構造物の推移

鉄道建設が始まった当初は、赤れんがと一部に石積みが用いられている。

大正時代に入ってコンクリートブロックが使用され、その後場所打ちコンクリート工法が採用された。

② 赤れんがの使用数

中央西線名古屋～多治見間に使用された赤れんがを、1886年(明治29年)～1900年(明治33年)の5年間に鉄道院が発注した数量は1,890万個。

(鉄道院中央線鉄道建設概要 明治44年)

③ 刻印=トンネル建設工事中の崩落事故などで廃棄された赤れんがの中から、製造所・職人の記号が刻印された赤れんがが発見された。刻印を手掛かりに製造所の確認を進め、現在20個あまりの異なる刻印を発見している。

5. NPO法人 愛岐トンネル群保存再生委員会 活動概要

(1) 事業計画

第1次活動実施/2007年6月 委員会発足

- ① 3～6号エリアの調査・整備・保存活動
- ② ナショナル・トラスト運動
- ③ 春・秋の特別公開
- ④ 近代化産業遺産 調査・保存再生・活用活動

第2次活動ビジョン

- ① 7～8号エリアの調査・整備・保存再生・活用活動
- ② 古虎溪駅～定光寺駅 フットパス実現

(2) 認定・受賞

- ① 2009.02.23. 経済産業省「近代化産業遺産33」認定
- ② 2009.03.02. 国土交通省「第9回中部の未来創造大賞」特別賞受賞
- ③ 2011.10.26. 国土交通省「土地活用モデル大賞」審査員長賞受賞
- ④ 2012.01.21. 国土交通省「手づくり郷土賞」一般部門受賞
- ⑤ 2012.04.01. 文化庁「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」 応募予定

(3) 23年度 活動実績

① 現地公開催事

・第1回	市民見学会	2008.04.27.		350名
・第2回	市民見学会	2008.11.23.		730名
・第3回	春の特別公開	2009.05.02.～06.	5日間	3,000名
・第4回	秋の特別公開	2009.11.21.～23.	3日間	14,838名
・第5回	春の特別公開	2010.04.26.～05.02.	7日間	5,059名
・第6回	秋の特別公開	2010.11.23.～28.	6日間	12,873名
・第7回	春の特別公開	2011.04.26.～05.01.	6日間	6,683名
・第8回	秋の特別公開	2011.11.23.～11.27.	7日間	15,591名
・来場者数	1～8回開催計			59,124名

(5) ナショナル・トラスト運動

・2009年5月開始 ～ 2012年3月8日現在 基金 ¥12,294,266.―